

# カムイのいる大地

アイヌ民族の歴史と文化

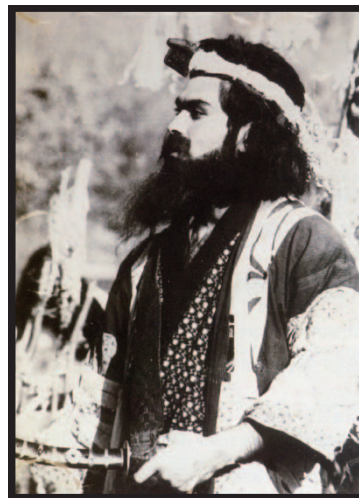
平成28年度企画展

## アイヌ民族とは

アイヌ民族とは、日本列島の北部、とりわけ北海道に昔から住み、狩猟採集を生業とし、独自の言葉や文化を育んできた人々をいいます。ところが、今の日本の教科書に書かれていることのほとんどは和人の社会や文化についてで、私たちがアイヌの人たちのことを知る機会は多くありません。企画展ではアイヌ民族独自の豊かな文化をご紹介します。そして、アイヌの人たちが受けてきた苦難の歴史もぜひ知ってください。



アットウシ(樹皮衣)※



儀式にのぞむアイヌの男性 鮎田晃男氏所蔵



メノコマキリ(女性用小刀)※

※は公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構所蔵

マタンブシ  
(儀式用鉢巻き)  
弓野恵子氏所蔵



タマサイ  
(儀式用首飾り)  
弓野恵子氏所蔵



チェプケリ(鮭皮靴)※

ニマ(木製の碗)



イクパスイ(奉酒箸)



## カムイと生きる人々

狩猟採集民族であるアイヌの人たちは、自然や動植物、念入りに手作りした道具などすべてにカムイ(神)が宿るという自然観をもっていました。中でもフクロウはアイヌ民族にとって大切なカムイで村の守り神とされています。

自然の中で自然の一部として生きるアイヌの人たちの世界が、あふれる人工物の中で暮らす現代の私たちにいろいろなことを教えてくれるでしょう。企画展をとおして異民族・異文化の存在を発見し認め合う心を育てていただければ幸いです。その心が平和で豊かな世界を築く力になるはずですよ。



ルウンベ  
(儀式用木綿衣)  
弓野恵子氏所蔵



火の神への祈り アイヌ民族博物館所蔵



イナウ(木製の祭具)

2016年  
10月8日 土 → 12月11日 日

開館時間：午前9時～午後5時 休館日：毎週月曜日、祝日、11月20日(日)

[関連イベント]

12月 9日(金) アイヌ文様の刺しゅう体験 / 12月10日(土) アイヌの昔話を聞こう(お話し会)

鞍手町歴史民俗博物館

〒807-1311 福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧2097

TEL : 0949-42-3200

平成28年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成事業